

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
9 ダム 編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工 (本体)	天端高▽	±20
						天端幅	±20
						ジョイント間隔	±30
						リフト高	±50
						堤幅	-30, +50
						堤長	-100
9 ダム 編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工 (水叩)	天端高▽	±20
						ジョイント間隔	±30
						幅	±40
						長さ	-100, +60

測定基準	測定箇所	摘要
<p>1. 図面の寸法表示箇所で測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高（越流部堤頂高を含む）は、各ジョイントについて測定。</p> <p>②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接觸部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)</p> <p>③ジョイント間隔（横縫目）は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。</p> <p>④堤長は、天端中心線延長を測定。</p> <p>3.</p> <p>①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。</p> <p>②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。</p>		
<p>1. 図面の寸法表示箇所で測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高（敷高）、ジョイント間隔は各ジョイント、各測点の交点部を測定。</p> <p>②長さは、各ジョイントごとに測定。</p> <p>③幅は、各測点ごとに測定。</p> <p>3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。</p>		

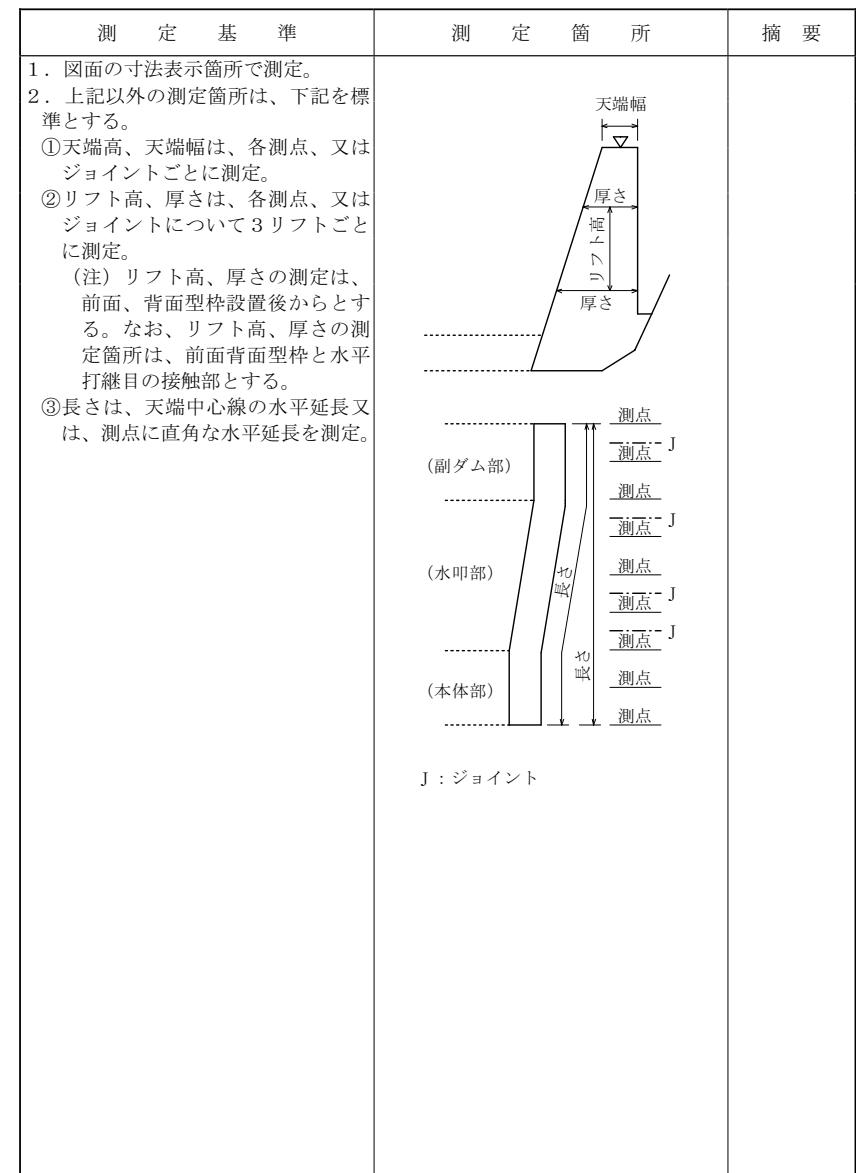
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
9 ダム 編	1 コ ン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (副ダム)	天端高 ▽	±20
						ジョイント間隔	±30
						リフト高	±50
						堤幅	-30, +50
						堤長	±40

測定基準	測定箇所	摘要
<p>1. 図面の寸法表示箇所で測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高は、各ジョイントごとに測定。</p> <p>②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接觸部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)</p> <p>③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。</p> <p>④堤長は、各測点ごとに測定。</p>	<p>J : ジョイント</p>	

单位：mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
9 ダ ム 編	1 コ ン クリ ート ダ ム	4 ダ ム コ ン クリ ート 工			コンクリートダム工 (導流壁)	天端高▽	±30
						ジョイント間隔	±20
						リフト高	±50
						長さ	±100
						厚さ	±20



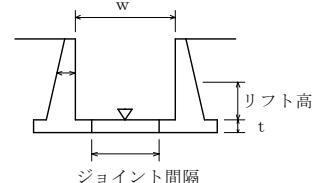
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
9 ダ ム 編	2 フ ィ ル ダ ム	3 盛 立 工	5		コアの盛立	基 準 高 ▽	- 0
						外 側 境 界 線	- 0, + 500
9 ダ ム 編	2 フ ィ ル ダ ム	3 盛 立 工	6		フィルターの盛立	基 準 高 ▽	- 0
						外 側 境 界 線	- 0, + 1000
						盛 立 幅	- 0, + 1000
9 ダ ム 編	2 フ ィ ル ダ ム	3 盛 立 工	7		ロックの盛立	基 準 高 ▽	- 100
						外 側 境 界 線	- 0, + 2000

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各測点について 5 層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種（タンピングローラ）の場合		
各測点について 5 層毎に測定。		
各測点について 盛立 5 m 毎に測定。		

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
9 ダ ム 編	2 フ ィ ル ダ ム				フィルダム (洪水吐)	基 準 高 ▽	±20
						ジョイント間隔	±30
						厚さ t	±20
						幅 w	±40
						リフト高さ	±20
						長さ L	±100
9 ダ ム 編	3 基 礎 グ ラ ウ チ ン グ	3 ボ ー リ ン グ 工			ボーリング工	深 度 L	設計値以上
						配 置 誤 差	100

測定基準	測定箇所	摘要
1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 1回／1施工箇所		
ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で 行うカーテングラウトに適用する。	